（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Delight　姫松教室			
○保護者評価実施期間	2025年　3月　1日		～	2025年　3月　19日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21	（回答者数）	18
○従業者評価実施期間	2025年　3月　1日		～	2025年　3月　19日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カリキュラムの内容については、エビデンスのあるカリキュラム内容になっており、保護者様にも満足いただいている。	定期的なカリキュラム研修とアップデートを行なっている。	内部研修だけでなく、外部の研修にも積極的に参加し、自己研鑽を図るようにしていく。
2	日々の支援について、しっかりと記録を残し、定期的にミーティング等でケースカンファレンスを実施している。	保護者に向けて、毎月の支援状況をレポートとして配布しており、保護者が希望する場合は、利用児が通われる幼稚園・保育園にも同じレポートを提出している。	レポートを提出して終わるだけでなく、そのレポートをコミュニケーションツールとして、各支援機関とも連携が図れるようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各職員のタスク状況を互いに理解することで、ミステイクを減らす必要があると思われる。	ミーテイングなどで業務の確認ができているが、より細かく互いに把握していきたいと考えている。	タスク状況の見える化や業務の効率化など、職員の協力体制は少しずつできているが、事業所の業務を職員全体が総合的に知っていく努力が必要と考えている。
2			
3			